

PTA 全委員会にて

本日は会長様はじめ役員様、また、委員の皆様、大変ご多用の中、時間を割いてお集まりいただき、誠にありがとうございました。

私は、この 4 月、校長に着任しました天野拓夫と申します。昨年までは、大口町教育委員会に勤務しておりました。何分にも未熟な身ではありますが、古知野西小学校 367 名の子どもたちをお預かりする長として、精一杯に努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

さて、この場をお借りして、本年度の学校運営方針について、少しお話させていただきます。

私が子供たちに伝えたいことは、大きく次の 2 点です。

一つ目は、「一人一人が、かけがえのない大切な存在である」ということ。そして、二つ目は、「自分と同じように、他の人も大切な存在である」ということです。一人一人が安心して、自分の個性を高めたり、夢や目標に向かって励んだりできる、学校生活を送ってほしいと思います。

そのために、私たち教職員は、「一人一人の良さを認める学校づくり」を進めます。私は、「言葉の力」を大切にしたいと思っています。教師は豊かで正しい言葉の使い手でありたいと思います。教師が発する言葉によって、子供たちに安心感を与えたいと思います。そして、自分の存在を大切に思う気持ち、そして、他者を思いやる気持ちが育っていくことに対して、力になりたいと思います。

昨日 16 日朝の時間の全校放送で、子どもたちに対して、校長より次のことを伝えました。その内容は、「古知野西小学校の先生たちは、児童の皆さんの名前を呼ぶときに、「さんづけ」をします。男の子にも、女の子にも、同じように「〇〇さん」と呼びます。」ということです。

「〇〇さん」と呼ぶのは、一人一人が大切な存在であることを伝えたいからであり、一人一人を認め合う古知野西小学校になるように願うからです。

簡単ではございますが、以上、新年度における校長あいさつとさせていただきます。

1 年間 PTA 活動につきまして、格別お世話になります。どうぞよろしくお願い致します。